

(医療・福祉の充実－8)

加古川地域保健医療情報システム
 (公益財団法人加古川総合保健センター)
<http://www.kakogawa.or.jp/index.html>

〔概要〕

兵庫県加古川市・稲美町・播磨町(以下「加古川地域」という)では、コンピュータやICカード(カインドカード)を使って、地域住民の健康作りを支援する、地域保健医療情報システム(以下「システム」という)が構築されている。加古川医師会などの関係機関と協力して、地域住民および地域医療機関の利用者がシステムに同意し登録されると、健診や検査の結果、病名や処方された薬などの診療に必要な情報を蓄え、システムの供給主体の連携の下、病院や診療所にかかったときに「いつでも、どこでも、だれでも」が安心して適切な医療サービスを受けられるようになる。また、本システムの機能の一つである『かこがわ健康BOX』では、インターネットを利用して住民が自宅のパソコンで健康管理ができるようになっている。

〔コラム〕

加古川地域では、地域住民の健康を守り、より質の高い保健医療サービスの提供を目指し、地域住民のPHD(パーソナル・ヘルス・データ)を一元化し、いつでも、どこでも、誰でもが、良質な保健医療福祉サービスを受けられるように全国に先駆けて、昭和63年からシステムを構築し順調に稼動しております。

約22年にわたるシステムの運営に関しては、医師会・行政・保健センターによって構成される保健医療情報システム運営委員会を意思決定機関として、コンセンサスを確立してきました。また、システムをより普及・定着させるためのシステム評価として、定量的なデータやアンケートによる多角的なシステムの分析なども行っています。現在は円滑で安定したシステムの運用を図るため、システムのWeb化に取り組んでいます。

システム運営経費については取り組み開始当初から、住民への生活支援システムの一部として位置づけ、行政負担で賄われています。

現在では、128医療機関でシステムが運用され、16万人を超える地域住民のPHDがホストコンピュータに蓄積されております。これは「地域住民の健康を守り、支援していく」というひとつの目標に向かって、関係各機関が協調し、前向きに取り組んできた成果であると言えます。



[総務省 平成22年 地域ICT利活用広域連携事業によりシステム構築]

〔加古川地域住民健康情報活用システム「かこがわ健康BOX」とは?〕

加古川市、稲美町、播磨町では加古川医師会などの協力の元、KINDカードを使った「加古川地域保健医療情報システム」を運用しており、健康診断の結果や医療機関での検査結果を医師が活用し、疾病の早期発見や健康増進などに役立てています。

このシステムは、ご自身による日々の健康づくりや生活習慣病予防のサポートを目的としており、ご自宅のパソコン(インターネット)を利用して日々の健康情報を入力し、継続的な健康管理を行うものです。また、これまでは加古川地域保健医療情報システムに加入している医療機関の端末でしか見ることができなかった健診結果や検査結果を、ご自宅のパソコンでも閲覧することができるようになります。データをやり取りするときには、SSL暗号化通信を使って「盗聴」「なりすまし」「情報の改ざん」などの危険から通信情報を守りますので、安心してご利用いただけます。



〔自宅のパソコンで健康管理〕

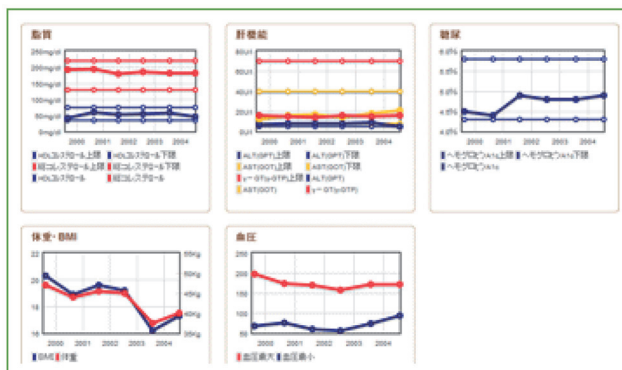
加古川地域保健医療情報システムに登録されている健康診断の結果、医療機関での診療情報(病名、検査結果等)や画面上で実施する健康チェック(問診)をもとに、注意すべき生活習慣病と、それに対するアドバイスが表示されます。また、それぞれの生活習慣病に対して行動計画(アクションプラン)が表示されますので、ご自身で目標設定(目標体重など)を行います。利用者に合わせてアドバイスや行動計画により、目標達成に向けた日々の取り組み(適度な運動、食事内容の見直し、その他)を継続的に行うことができます。

※このシステムは、健康管理を支援するものであり、システムの利用のみで健康状態が改善されることを保証するものではありません。



〔健診結果や検査結果を自宅のパソコンで閲覧〕

加古川地域保健医療情報システムに登録されている健康診断の結果(身長・体重・血圧・コレステロール値・血糖値など)や医療機関での診療情報(検査結果など)を、ご自宅のパソコンのインターネット画面で閲覧することができます。データは、それぞれの推移を視覚的にとらえることができるようグラフ化され、基準値との比較も容易に行うことができます。



〔問い合わせ先〕

公益財団法人加古川総合保健センター
TEL:079-429-2100